

2010年9月8日

アルミナ繊維製造設備の増設について

～自動車排ガス処理装置の旺盛な需要に対応～

三菱樹脂株式会社

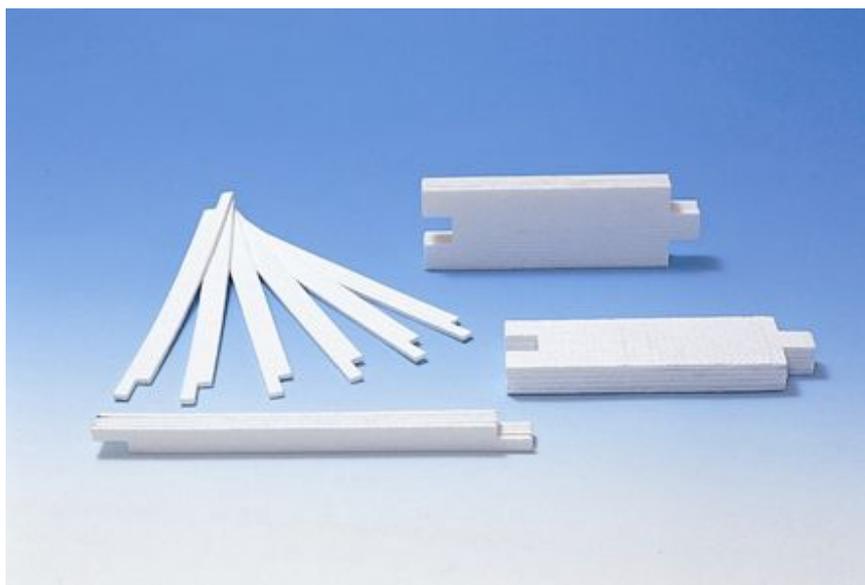
三菱樹脂株式会社（本社：東京都中央区 社長：吉田 宏）は、直江津工場（新潟県上越市）にアルミナ繊維「^{マフテック}MAFTEC®」の製造設備の増設を決定し、今般、着工致しました。

当社が直江津工場及び坂出工場において製造しているアルミナ繊維「^{マフテック}MAFTEC®」は、1600℃を超える高温環境下でも長時間の断熱性能及びクッション性を維持することが可能である点など様々な優れた特性を備えております。そのため、製鋼用断熱材や自動車の排ガス処理装置用途の触媒コンバーター及びDPF*のサポート材として、需要家から高い評価を得ております。特に触媒コンバーターやDPF*のサポート材としての世界シェアは約40%（当社推定）に達しております。

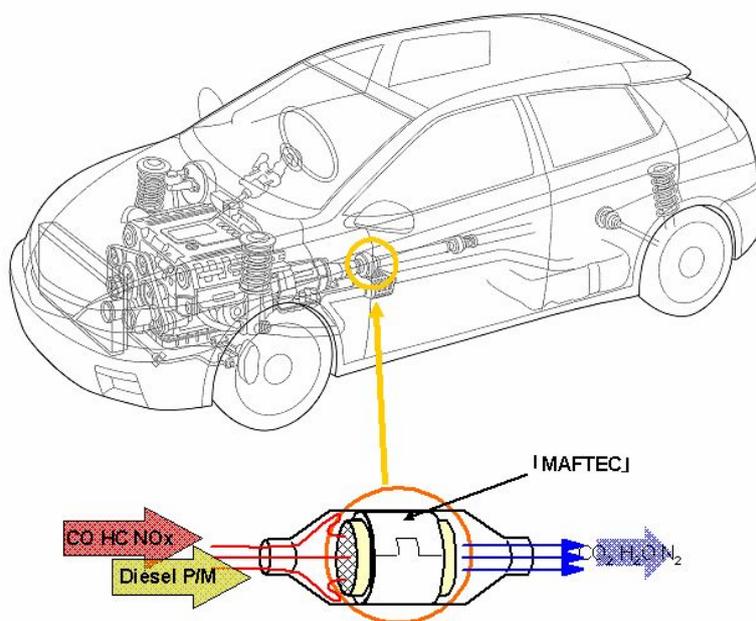
当社は、現在、自動車の排ガス処理装置のマーケットの旺盛な需要に応じ、現有する生産ラインの能力増強等に対応を図っておりますが、現在の製造能力（約4,500トン/年）では、2011年度に供給限界となる見込みです。そこで今般、約300トン/年の製造設備増設を決定致しました。立地場所については、既存インフラの活用等により工期が最も短縮でき、また、マーケットの旺盛な需要に最も素早く対応できる直江津工場に決定致しました。竣工は2011年3月末を予定しております。

アルミナ繊維は、世界各国における排ガス規制強化の動きに伴い、自動車の排ガス処理装置の触媒コンバーターやDPF*のサポート材向けを中心に今後も需要が伸びることが予想されます。当社は、マーケットの状況を注視しながらメーカーとして安定供給を図るため、更なる増産の検討も行っております。

*DPF：ディーゼル・パーティキュレート・フィルター（ディーゼルエンジンから排出されるスス状物質を浄化する装置）



アルミナ繊維「MAFTEC[®]」
マフテック



自動車の排ガス処理装置の触媒コンバーター用サポート材説明図

<本件に関する報道関係のお問合せ先>
三菱樹脂株式会社 総務部 広報室
TEL:03-3279-3800